

# 砂の造形

## 期待される効果

思考力	判断力	表現力	創造力	コミュニケーション能力	体力	生命尊重	感動する心	知識・技能	協調性	主体性	課題発見	課題解決能力	自然への気づき	自然愛護	
○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	

活動場所	木崎浜	対象	未就学児～一般
班の人数	5人～10人	所要時間	2時間半～3時間半
団体側の準備物	帽子・水筒・タオル・サンダル・濡れてもいい服装		
施設側の準備物	スコップ(大)・スコップ(小)・バケツ・無線・防災セット(マップ・拡声器・ラジオ)		

## 活動の内容

- 海岸の砂浜にて、立体的な砂の造形美を表現する。
- 海岸にあるゴミ等を教材とし、環境教育と関連して活動を展開することができる。



## 活動の流れ

- ① 活動についての説明
  - ・活動場所、道具について説明する。
- ② 活動開始
- ③ 移動、片付け

## 留意点

- 班で行動し、適度に休息・水分補給を入れる。
- 津波警報発令時は、**自然の家**へ避難する。
- 移動の際は、車や人の通行に注意する。
- 活動エリア、水汲み場、危険個所を確認・周知する。
- 靴・サンダルを履いて活動する。(はだし厳禁)
- 道具を使わないときは、置く場所を決める。(ケガや紛失する場合がある)
- 危険と思われる漂流物は触らない。(液体の入った容器等)
- 使用した道具は、自然の家で水洗いをし、造形倉庫付近に干す。
- 足洗い場(造形倉庫付近とランドリー横)で、体や衣服についた砂をよく落とす。

## 引率者の動き

### (事前)

- 1班5～10人の班の編成を行い、班長を決めておく。
- 各班でどんな作品を作成するか決めておく。
- 潮汐、活動エリア(水汲み場)、危険個所等の確認する。

### (当日)

- 津波警報発令時は、**自然の家**へ避難誘導をする。
- 研修生の安全管理に努め、水分補給を促す。